

2022年度地球環境基金助成金の要望受付開始について ～全国8つの地域・テーマで助成金説明会（オンライン）を行います～



説明会ホームページ

令和3年9月30日(木)
(独)環境再生保全機構 地球環境基金部
部長：秋保 裕幸
地球環境基金課長：小林 大
担当：本多、西岡
連絡先 044-520-9505 FAX:044-520-2192

環境分野の政策実施機関である独立行政法人環境再生保全機構（神奈川県川崎市 理事長 小辻智之）地球環境基金では、日本国内外の民間団体（NGO・NPO）が開発途上地域または日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成金の交付を行っています。

1 2022年度助成金募集案内を本日公開しました

- ✓ 要望書の受付期間は、[2021年11月11日（木）～同年12月2日（木）](#)です。
- ✓ NGO・NPOの日本国内や開発途上地域における環境保全プロジェクトを幅広く支援します。【詳細⇒2ページ】

2 全国8つの地域・テーマで助成金説明会（オンライン）を行います

- ✓ 各地域の環境パートナーシップオフィス（EPO）との連携・協力の下、[助成金説明会・個別相談会](#)をオンライン開催します。
- ✓ 全国8地域（北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州）で「地域循環共生圏」「国際協力」等の[テーマを設定し、各地域で活躍するNPO等による活動事例発表](#)も予定しています。
- ✓ オンライン開催ですので、全国どの地域の説明会にも参加できます。【詳細⇒2ページ】

3 脱炭素社会の実現に向けた取組を積極的に支援します

- ✓ 再生エネルギーの利用促進・転換、省エネルギーの普及など、[化石燃料からの脱却に資するプロジェクトを積極的に助成・支援](#)します。
（活動分野「地球温暖化対策」を「脱炭素社会形成・気候変動対策」に改定しました。）【詳細⇒3ページ】

4 「企業協働プロジェクト」による協働・連携を推進しています

- ✓ 企業等の寄付金により特定分野・地域における環境保全プロジェクトを助成する「企業協働プロジェクト」を推進しています。
- ✓ （一社）日本釣用品工業会からの寄付による[LOVE BLUE助成](#)（2015年～、水辺の環境保全活動を対象）を実施します。【詳細⇒3ページ】

1 2022年度助成金募集案内を本日公開しました

- ✓ 2022年度も「はじめる→つづける→ひろげる」のステップアップなど、NGO・NPOの状況やそのプロジェクトに応じた助成メニューによる支援を行います。
- ✓ 要望書の受付期間は、[2021年11月11日（木）正午～同年12月2日（木）13時まで](#)【時間厳守】です。
- ✓ 主な応募要件、助成メニュー等は、以下のとおりです。

<主な応募要件>

1. 助成対象団体 特定非営利活動法人、（一般/公益）財団法人・社団法人、任意団体
2. 助成対象地域 日本国内、開発途上地域
3. 助成金募集案内の公開 2021年9月30日（木）16：00
4. 応募期間 2021年11月11日（木）～2021年12月2日（木）
5. 助成期間 2022年4月1日～2023年3月31日
6. 対象となる活動分野 幅広い分野の環境保全活動を対象としています
 （自然保護・保全・復元、森林保全・緑化、砂漠化防止、環境保全型農業等、脱炭素社会形成・気候変動対策、循環型社会形成、大気・水・土壌環境保全、復興支援等、総合環境教育、総合環境保全活動）
7. 助成メニュー 8種類（下方参照）
8. 年間助成金額 50万円～1,200万円（助成メニューにより異なります）
9. 2021年度交付実績 181団体、1件あたり平均約320万円（総額約5億8千万円）
10. 提出・問い合わせ先 独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部 地球環境基金課
TEL 044-520-9505

<助成メニュー等>

2021年度助成金
要望件数・助成件数・交付決定額

	主な特徴	同一活動助成期間	年間助成額/件	要望件数助成件数 百万円		
はじめる助成	団体設立から10年以下 未助成団体・小規模活動を支援	1年間（1団体1回限り）	50～300万円	38	10	19
つづける助成	未助成団体・定着を目指す活動を支援	最大3年間（1団体1回限り）	50～300万円	67	32	64
ひろげる助成	ステップアップを目指す活動を支援	最大3年間（連続6年まで）	200～800万円	153	110	406
フロントランナー助成	先進的、モデルとなる活動を支援	原則3年間（評価で5年まで）	600～1200万円	17	5	33
プラットフォーム助成	環境課題を解決する連携基盤の活動を支援	最大3年間	200～800万円	10	3	16
復興支援助成 （継続3年目のみ）	東日本大震災、熊本地震復興活動を支援	最大3年間	100～500万円	8	6	19
特別助成	東京2020大会に向けた環境保全を支援 （注：2021年度をもって終了）	原則1年間	200～600万円	2	2	9
	地域循環共生圏を構築する活動を支援	最大2年間	50～200万円	5	2	3
LOVE BLUE助成	清掃活動等水辺の環境保全活動を支援	最大3年間	50万～170万（2020年交付額） 総額1,350万円以内	8	11	13
計				310	181	584

※端数処理（百万円未満切り捨て）の関係で合計が合わない場合がある。

※上記とは別に、2020年度延長団体16件に対し35百万円の交付決定を行い、2021年度助成金交付決定は総計197件、619百万円

2 全国8つの地域・テーマで助成金説明会（オンライン）を行います

- ✓ 詳細は、[地球環境基金ホームページ](https://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/schedule/index.html)で随時更新しています。
- ✓ オンライン個別相談は、具体的な助成金申請の内容や手続についてもご相談いただけます。ぜひご活用ください。

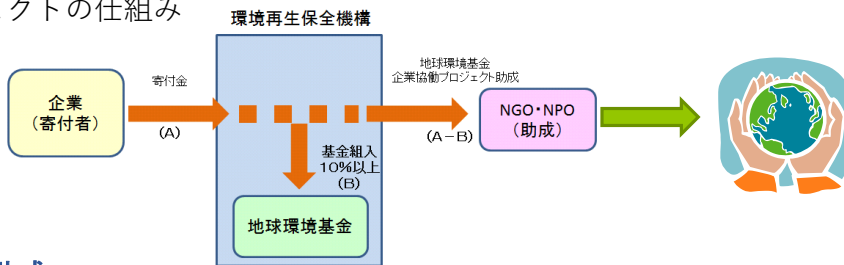


3 脱炭素社会の実現に向けた取組を積極的に支援します

- ✓ 再生エネルギーの利用促進・転換、省エネルギーの普及、再生可能資源への転換等だけでなく、市民レベルで「今ある技術で、今できること」を含む、化石燃料からの脱却に資する取組を支援します。
- ✓ そのことを明確にするため、活動分野の区分「地球温暖化対策」を「脱炭素社会形成・気候変動対策」に改定しました。

4 「企業協働プロジェクト」による協働・連携を推進しています

- 概要
 - 企業等（企業・団体・個人など）のご寄付を直接助成に充て、当該企業等からの拠出によることを明らかにして助成を行います。寄付者の貢献が目に見える仕組みです。
- プロジェクトのポイント
 - 公的法人なので安心して参画できます。
 - 寄付者に関連のある分野・地域を指定いただくことが可能です。
 - 寄付者のプロジェクトとして公表できます。
- プロジェクトの条件等
 - 寄付金の額：概ね単年度1,000万円以上または300万円を3年以上
 - 寄付金のうち、寄付額の一部を「地球環境基金」に繰り入れる。
 - 助成先の募集、審査、助成金の支払い等は、地球環境基金助成金の枠組みで実施。
 - プロジェクト期間：1年間もしくは3年間（継続助成の場合）
- プロジェクトの仕組み



■ LOVE BLUE助成

「LOVE BLUE助成」は、一般社団法人日本釣用品工業会より地球環境基金に寄付された資金をもとに、清掃活動など、水辺の環境保全活動を支援するための助成金です。

LOVE BLUEとは、一般社団法人日本釣用品工業会が公益財団法人日本釣振興会と共同で取り組む環境・美化事業です。この事業は、釣り用品メーカー等が国内で販売する釣り関連製品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部が一般社団法人日本釣用品工業会へ拠出され、事業原資となっています。



<参考>

地球環境基金助成におけるSDGs（持続可能な開発目標）への取組み

2015年9月の国連総会で「Transforming Our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development（我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ）」が採択されました。その中心を占めているのが「Sustainable Development Goals（SDGs：持続可能な開発目標）」です。

SDGsは、政府だけではなく地方自治体、市民社会（NPO・NGO）、企業など関係者が広く取組むものとされており、SDGsは先進国、途上国すべてにとっての目標で、誰一人取り残さないように（Leave no one behind）取組み、環境・経済・社会の課題を統合的に解決することを目指しています。

地球環境基金も、活動資金助成やエンパワーメントを行う事業を通じて、SDGsの考え方を活用し、環境保全活動を中心に捉えつつ複数の目標を統合的に解決することを目指す環境NGO・NPOを積極的に支援していきます。

